

2025 年 9 月 16 日作成

第 1.0 版

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

奈良県立医科大学では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。電話でのアンケート調査を行う研究で口頭同意をいただきますが、同意を撤回したいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

急性陰嚢症患者の転帰

1. 対象となる患者さん

2000 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日に奈良県立医科大学附属病院に急性陰嚢症のために受診し緊急手術をしなかった患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

3. 研究の目的と意義

急性陰嚢症は精巣捻転症、精巣上体炎、付属小体捻転症（精巣垂捻転、精巣上体垂捻転）、精巣炎、精索静脈瘤などが鑑別となる救急疾患です。中でも精巣捻転症を確実に診断することは重要ですが、精巣捻転症の可能性は低い場合には緊急手術は行われません。しかしながら、緊急手術が行われなかった患者さんの中には、その後再度同様の急激な陰嚢痛が出現し手術が必要となる可能性があります。本研究では、緊急手術が行われなかった患者さんに電話調査を行い、当院に受診以降に再度陰嚢痛の発症がなかったかどうかなどを電話調査いたします。緊急手術が行われなかった患者さんの中で将来の精巣捻転の発症リスクの割合が分かれば、待機的に精巣固定術を行う参考データとなりえます。

4. 研究の方法

5. に示す情報を電話にて調査します。

5. 使用する情報

対象の患者さんの診療録から年齢、身長、体重、既往歴、エコー所見などの臨床情報を収集

します。

対象の患者さんについて、下記の情報を電話調査します。

- ① 当院に救急受診した後に再度陰嚢痛で医療機関を受診した回数とそのおおよその日時
- ② 当院に救急受診した後に再度陰嚢痛で医療機関を受診した際の診断病名と緊急手術が施行の有無
- ③ 痛みがあった精巣の萎縮の有無
- ④ 挙児・不妊の有無

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

7. 研究の実施体制

この研究の実施体制は以下のとおりです。

研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

研究分担者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 診療助教 橘 進彰

8. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2029年3月31日

9. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：morizawa@naramed-u.ac.jp